

昭和二十九年三月

# 足利市教育の一般目標

足利市教育委員会

このたび地域の实情に即した教育の運営をはかり、その進歩改善を目指して足利市教育の一般目標を設定した。ここに設定の意義と概要とを記してその活用の資に供したいと思う。

さきに教育基本法の趣意を具体化し、国の教育一般目標が新しい教育の理念として明示され、また栃木縣教育の一般目標も国の目標に準據して本県の特事情を考慮した具体的人間像をえがき出した。

いうまでもなく教育の営みは現実社会を理想社会に導くべき力溢るる不断の活動でなければならぬ。教育の一般目標が社会理想の実現や、社会課題の解決にふさわしい人間像をのぞましい行動の型として捉え、個人の成長をこの方向に導いてこそ真に社会の発展向上が図られるのである。この趣旨をもつて国並びに栃木県において設定された教育目標が人々の深い理解と協力とによつて果した役割はめざましいものがある。しかしながらこのような理想的人間像の確立を目指して営まれている教育実践を通して痛感する事は、その教育目標が地域社会の現実感に乏しく具体性に欠けているという事実である。従つて迫力ある教育活動を導き出すための目標としては、地域社会にひそむ現実的課題をわれわれの力でつとめて具体的にとり出し、その解決をはかるのにふさわしい人間像をえがくことが強く要求されるのであり、国や県のえがく理想的人間像と兩者相まつて地域社会の教育推進の活きた指針たり得るのである。こゝに足利市教育の一般目標設定の意義が存するのである。

さて以上のような必要から足利市教育の一般目標を設定するに当つてとつたわれわれの立場をのべてみようと思う。すなわち

- 一、日本の国家課題の研究と検討
- 二、足利市の地域社会の実態を研究し、その維持発展のための理想と課題をとらえる。

### 三、国並びに栃木縣教育の一般目標の分析研究

#### 査研究

四、足利市の児童生徒の現実の特性や、将来の望ましい在り方等の調査研究

などを行い、足利市教育の現実的課題を具体的に明きらかにし、これを国の教育の理念理想によつて透視して足利市教育の一般目標を設定しようとして試みたのである。

次に、目標設定のため基礎調査として、足利市民の関心の調査、産業構造の分析と意識の実態、合併地区市民の関心の調査、婦人の意識調査、児童生徒の生活意識の調査、児童生徒の學力調査、ガイダンス・ニーズの調査、保健体育に関する調査、などを実施し、文献記録による調査として、国の基本的課題、各地域の社会課題、足利市の社会基盤、社会機能の調査を行い及ぶかぎり調査の公平と正確を期して具体的な社会課題を抽出することに努力した。

かくしてとり出された社会課題を、生産消費、交通通信運輸、保健娛樂、教養芸術宗教、保全政治の主たる社会機能別の各専門分科会を設け

て、根本的な検討を重ね、地域の教育課題をできるだけ生な素材として抽出し、個人生活、家庭社会生活、経済職業生活の三領域別に整理と統合をはかつたのである。以上の手続を経て選ばれた教育課題を更に検討吟味して中核をなす課題を教育課題の大項目として設定し、これが解決をはかるにふさわしい行動の型として足利市教育の一般目標の諸項目がうち出されたのである。

したがって足利市教育の一般目標は、足利市の地域社会が現実的に進歩と改善を迫られている社会課題を国家が当面している基本的課題との関連において検討し、そこからとり出された教育課題を母体として国並びに県の一般目標との照合において生み出されたものである。

ともすれば地域の教育目標が閉鎖的であり、偏狹性のそしりをまぬかれなかつたのであるが、われわれはその欠陥を補い、特殊と普通の調和につとめたところにも地域教育目標設定の基本的態度があつたのである。

かようにして設定された足利市教育の一般目標は次に掲げるものであるが、結論的に見れば教育の意図する理想的人間像は国や県が一般目標としてかかげたものも、われわれが足利市教育の一般目標として設定したのも一体的なものである。たゞしこれまでのべてきたように地域の教育目標設定のために経てきた手続の中で、もつとも切実な現実感と具体性をもたらしわれわれの教育活動に生彩ある勇気づけをしてくれるものは目標項目の母体をなしているもろもろの教育課題であることを確信する。

地域社会の実情に即した具体的教育の営みをなすもつとも根本の問題は地域の現実を正しく認識することである。そのような意味から足利市教育の一般目標が地域社会における学校教育、家庭社会教育、その他の教育計画の樹立と実践的営みの理想的なよりどころとして、また地域社会の正しい認識の資料として活用され、本市教育の進歩発展がはかれるよう期待するものである。

個人生活

教育目標	教育課題大項目	教育課題小項目
<p>自ら進んでものごとを学ぼうとする強い意欲と正しい態度をもつようになる。</p>	<p>すゝんで知識や趣味を求め、知性にもとづいた強い自己統制力を養って、自己の實現をはからねばならない。</p>	<p>◎知性にもとづいた強い意志による自己統制力を養わねばならない。            ◎困難に打ちかつ粘り強い精神力を養わねばならない。            ◎常に正しいと信ずる意見を主張できるようにならねばならない。            ◎知識と趣味とを広く求めて、その中の自己に關係深い専門的な学問技術を生涯にわたり追求し自己を高めねばならない。            ◎讀書欲を高め研究的態度が養われねばならない。            ◎なんとかなるだろうというような考えで、すすんでものごとを切り開こうとしない態度を改めねばならない。            ◎長いものにはまかれ主義を廢止せねばならない。</p>

道徳的心情を高め、正邪善悪の  
区別をわきまえ、正しい行動を  
とるようになる。

相手によくわかるように話すこ  
とができ、また相手の言うこと  
もまらがいなく聞きとることが  
できるようになる。

よく読むことができ、また相手  
によくわかる正しい文字や文章  
が書けるようになる。

ものごとを数量的に観察したり  
処理したりすることができ、数  
えたり計算したりすることがで  
きるようになる。

自然物を大切にし、また生物を  
愛護するようになる。

道徳的心情を高め、正邪善悪の区別をわ  
きまえ、正しく行動できるような実践力  
をもたねばならない。

相手によくわかるように話すことができ、  
また相手の言うことも正しく聞きとるこ  
とができるようにならねばならない。

よく読むことができ、また相手によくわ  
かる正しい文字や文章が書けるようにな  
らねばならない。

ものごとを数量的に解釋し、数えたり計  
算したりすることができるようにならね  
ばならない。

自然物を大切にし、また生物を愛護せね  
ばならない。

◎ 社会経験の機会を與える種々のグループに所属させ、共同思考、共同実践  
により道徳的心情、判断力、実践力を身につけねばならない。

◎ 營業道徳を尊重せねばならない。

◎ 交通道徳を自覺的に實踐しなければならぬ。

◎ 無批判的であつたり、虚偽の言動があつてはならない。

◎ 祖先に對する感謝、尊敬の念を高めなければならぬ。

◎ デイスクッションの技術を身につけるようにしなければならぬ。

◎ ラジオ放送をよく理解して、聴取がたよらないようにならなければなら  
ない。

◎ 自分の考えを相手によくわかるように話したり他人の話の聞いたりする力  
をつけなければならぬ。

◎ 自分の考えを相手によくわかるように書いたり、書かれたものを讀んだり  
する力をつけなければならぬ。

◎ 新聞を辭讀できるようにならなければならぬ。

◎ 数量的、科学的な能力を高めなければならぬ。

◎ 数表やグラフなどで表わされたものを正しく理解できる力をつけなければ  
ならぬ。

◎ 数量についての基礎技術と日常生活と關連して役立たせなければならぬ。

◎ 生活の問題を数表やグラフなどに表わして調べたりする力をつけなければ  
ならぬ。

◎ 森林や草花を愛護するようにならねばならぬ。

◎ 生物を愛護しなければならぬ。

ものごとをよく観察し、常に正しい思考と判断にもとづき、科学的に処理することができようになる。

繪や文を書いたり歌つたり、ものを作つたりするような創作表現活動を楽しみ、それらについての理解を深めるようになる。

自然の美を味わい、文学、芸術への興味を高め、生活にうるおしをもたせるようになる。

ものごとをよく観察し、常に正しい思考と判断をなして、科学的に処理することができなければならない。

繪や文を書いたり、歌つたり、ものを作つたりするような創作表現活動を楽しみ、それらについての理解を深めねばならない。

郷土の美を知り、民藝を育て、生活にうるおいをもたせねばならない。

◎常に自己の生活に科学的合理的な反省を加え、能率的に生活を営む知識と技術を身につけて生活の向上を計らねばならない。

◎實証的な資料に基いてものごとを正しく判断することのできる態度習慣をつくらねばならない。

◎迷信や因襲によつて進歩的な生活や行事が歪められないように配慮されねばならない。

◎種々の機械器具の取扱いになれ、性能を生かすことのできる技能を養わねばならない。

◎生活の問題に對してその實態を究明しようとせず、宿命的なものとして受けとるだけでなく、それを積極的に解決しようとする意識を高めなければならぬ。

◎新しい試みに對して極めて消極的な態度を改めなければならぬ。

◎郷土の美が繪畫や詩や歌に表わされ、市民の藝術的教養や愛郷心のかん養に役立つようにならねばならない。

◎美術展、音楽会等の文化的行事が市民の藝術的教養の向上のために一層有効に行われねばならない。

◎よい音楽を聞き、それを正しく歌う力をつけなければならぬ。

◎合唱や合奏の楽しさを知るようにならなければならぬ。

◎よい書画を鑑賞する力をつけなければならぬ。

◎市民の生活に根を下ろした民藝が助長されねばならない。

◎家庭において美的生活が行きわたるようにならなければならぬ。

◎美的情操を養うように家庭生活が効果的に行われねばならぬ。

◎生活に根を下ろした健全な民藝がつけられねばならぬ。

◎よい文藝、映畫、演劇への興味を發展させなければならぬ。

宗教について正しい理解と態度をもち、宗教的情操を高めるようになる。

健康で明朗な生活に必要な保健  
体育の知識と態度習慣を身につけ、自分や他人の健康を保持増進することができるようになる。

宗教について正しい理解と態度をもち、宗教的情操を高めねばならない。

健康で明朗な生活を営むに必要な保健  
体育の知識と態度習慣を身につけ、自分や他人の健康を守らねばならない。

◎ 正常な宗教心をつちかうために、家庭や社会の宗教的行事や習慣を宗教的情操の啓培に役立たせるようにする必要がある。

◎ 家庭における宗教的態度がその子女に大きな影響を興えることを知り、子供達が宗教的感化を受ける機会をより多くつくつてやる必要がある。

◎ 青少年の宗教心をつちかう有効な機会が與えられるように配慮されねばならない。

◎ 宗教の目的とする信念と情操をつちかい、精神生活の確立を期さねばならない。

◎ 学校においては宗教的な知識、自發的な宗教心の啓培に關し適切にして効果的な對策が考えられねばならない。

◎ 社会においては宗教を生活に浸透せしめるような對策が考えられねばならない。

◎ 近代社会における種々の欠陥を補うところの宗教的情操をかん養する基本的な場所は家庭であることを考え、宗教的ふん圍氣をつくるように心掛けねばならない。

◎ 必要な保健体育の知識をもち、健康保持の能力と習慣とを身につけ社会のため充分活動できるようにならねばならない。

◎ 体育の意義を理解し、健全な精神と粘り強い体力とを養わねばならない。

◎ 常に正しい姿勢を保つようにならねばならない。

◎ 育児に關して改善され妊産婦についての知識が一層深められねばならない。

◎ 衛生的知識を深めると共に、その活用を阻んでゐるろ習をやぶる態度を養わねばならない。

◎ 結核、性病その他の傳染病を撲滅せねばならない。

◎ 青少年は酒、煙草の害毒を理解し、強い意志によつてこれを防止せねばならない。

◎ 麻薬（ヒロポン等）の使用禁止を厳守しなければならぬ。

◎ 煙や蚊の害を理解しその撲滅をはからねばならない。

◎ 寄生虫を駆除し、また虫歯を豫防せねばならない。

社会生活及び家庭生活

<p>つとめて余暇を利用し運動競技や健全な娯楽を行い、心身の健康を保持増進することができるようになる。</p>	<p>能率的な生活から生ずる余暇を利用して体育的レクリエーションや娯楽を行い、心身の健康を維持増進せねばならない。</p>	<p>◎体育的レクリエーションを普及し、それを楽しむようにならねばならない。          ◎娯楽に對して正しい認識を持ち、健全な娯楽を生み出すように努力せねばならない。          ◎経済的な少とりのない人にも楽しめる娯楽が考えられねばならない。          ◎家庭生活を合理的能率的に改善し、余暇を活用するようにせねばならない。          ◎俗悪な書籍雑誌を退放するようにならねばならない。          ◎不健全で歐樂的、たい廢的な娯樂をやめるようにならねばならない。          ◎青少年のための健康的な娯樂機關が設置されるような意欲が盛上るようにならねばならない。          ◎勝敗にこだわらず自分の健康増進のために体育を楽しむようにならねばならない。</p>
<p>教育目標          お互に個人の価値を認め合い、お互の立場を尊重すると共に自己の特性を發揮して楽しく明るい生活をつくりあげようになる。</p>	<p>教育課題大項目          お互に個人の価値を認め、その立場を尊重し自己の特性を發揮し楽しく明るい生活をつくり上げるようにならねばならない。</p>	<p>教育課題小項目          ◎人としての自己の尊さを自覺して、その価値を充分發揮することにつとめるようにならねばならない。          ◎他人の立場をよく理解し、他人を妨げず他人の意見をよく聞くようにならねばならない。          ◎家庭生活に常に清純な理想をとりいれ、その實現のために家庭の人々が協力して楽しく明るい生活を営むことができるように生活の民主化を圖らねばならない。          ◎親は子供を正しく理解して指導し、將來の發展を助長するように心掛けねばならない。          ◎男尊女卑の弊をとりのぞき、お互が協力することにより明るい家庭生活が営まれることを理解せねばならない。          ◎家族相互の深い理解と正しい愛情によつて、家庭の問題を解決していかなければならないことを理解せねばならない。          ◎親や老人を尊敬しようとする風風がつけられねばならない。</p>
<p>家庭生活について常に清純な理想をもち、お互に深い愛情と理解をもつて助け合い生活の向上をはかるようになる。</p>	<p>家庭生活に清純な理想をとりいれ、その實現に協力して生活の民主化をはからねばならない。          家庭生活においてお互に深い愛情と理解をもつて助け合つて生活の向上をはからねばならない。</p>	

社会生活の不合理的状態を改善し、住みよい社会を建設するため他人と共に正しい方法で活動するようになる。

結婚や性について正しく理解し望ましい態度がとれるようになる。

望ましい家庭や社会のきまりをよく守り、すゝんでよりよい秩序の保持増進をはかるようになる。

社会生活から生ずる不合理を改善し住みよい社会を建設するために協力するようにならねばならない。

結婚や性について正しく理解し、望ましい態度がとれるようにならねばならない。

公衆道徳を重んじ、すゝんで秩序ある社会生活や家庭生活を営むようにならねばならない。

- 住みよい文化都市について理解し、實現を阻害している条件を除去せねばならない。
- 長期建設の計畫を理解し更にそれに参加して實踐に移すための市民としての意識を高めねばならない。
- 子供の遊園地のようなものに對して市民の關心が一層深まり施策を講ずるようにならねばならない。
- 服装の良否にとられず又時間を生み出してつとめて会合に出席するようにならねばならない。
- 婦人の地位が向上し男女の平等がもたらされ、兩性の特性が充分に生かされるようにならねばならない。

- 青少年が性について正しい理解をもつようにならねばならない。
- 男女の交際の正しいありかたを理解して異性とのお互い關係が保てるようにならねばならない。
- 正しい戀愛觀がもたれねばならない。
- 結婚の意義について正しい理解をもつようにならねばならない。
- 結婚に際しては、お互に健康診断書を交換するようにならねばならない。

- 社会秩序の維持増進のために規則を守る態度を養成せねばならない。
- 交通、通信、運輸機關の利用者は特に公德心を守りお互に氣持のよい利用之心を掛けねばならない。
- 對面交通の徹底をはからねばならない。
- 集會の始めと終りの時刻をきめ時間を厳守するようにならねばならない。
- 家庭の生活をきまりよくするために時間を厳守しなればならない。
- 道路を愛護しようとするようにならねばならない。
- 路面を占有して迷惑をかけるようにならねばならない。
- 強音を防止するようにならねばならない。
- 公共物を大切にしなければならぬ。



他人の健康と自己の健康とは互に影響し合うことを理解し、公衆の健康を考えて行動するようになる。

自分の利益や幸福だけにとらわれることなく、常に深い愛情をもつて他人の利益や幸福を考えて行動するようになる。

幼い人々を愛しその成長発達に深い関心を持ち、これらの人々にのぞましい影響を与えるようになる。

お互に親しみ合い信頼し合い、礼儀正しい人となつて明るく快い交際ができるようになる。

自己の生活が他のものとの依存関係によつて営まれていることを理解し、お互に感謝の気持ちをもつようになる。

他人の健康と自己の健康とは互に影響し合うことを理解し、公衆の健康を考えて行動するようになるなければならない。

利己的な感情や目先の利害をおさえ多数の利益や幸福を考えるようにならないなければならない。

幼い人々を愛し、その成長発達に深い関心を持ち、平等にして価値ある教育の機会を興えるようにならない。

お互に親しみ信頼し合い、礼儀を重んじ正しい交際ができるようにならないなければならない。

自己の生活が他のものとの依存関係によつて支えられていることを理解し、自己にこだわることなくすんで他と協力するようにならない。

◎個人及び家庭生活において身体を清潔に保つことができるような習慣を養うと共に、公衆衛生に關して理解を深めて公共施設の衛生的保持に心掛けなければならない。

◎学校を子供の健康保持増進の場とするように配慮しなければならない。

◎保健衛生の関心を高め知識を深めると共に、その活用を阻んでいる習慣を断つような態度が養成されなければならない。

◎結核、性病等の傳染病の撲滅に協力するようにならない。

◎蠅や蚊の害毒を理解しその撲滅によく協力するようにならない。

◎傳染病患者の隔離に積極的に協力するようにならない。

◎他人の成功をねたみ他人を陥れるようなことなく、協同して行うべき仕事はどこまでも協力していくようにならない。

◎社会事業の趣旨を理解してそれに協力する態度が養われなければならない。

◎子供の健全な成長に關心を持ち、子供たちの社会教育について共同の責任をとらうとする態度が養われなければならない。

◎教育の基本権を確認し、すべての子供が平等に又価値ある教育を受けなければならないという考え方を強くせねばならない。

◎礼儀作法が守られなければならない。

◎虚礼を廢止しなければならない。

◎明るく挨拶や正しい言葉遣いができるようにならない。

◎老人、子供、病弱者に親切でなければならない。

◎自己の生活が他のものとの依存関係によつて支えられていることを理解し自分の利益や幸福だけにとらわれず、すんで他と協力しようとする態度を養わなければならない。

集団行動のし方をわきまえ、それぞれの場合に応じて時に有能な指導者となり、時に理解ある協力者になることができるようになる。

常に公私の別をはつきりとつけ、強い責任感をもつてりつばに職分を果すようになる。

社会正義について理解を深め、これに敏感になると共に不満足な状態の改善につとめるようになる。

職業や地位や感情にとらわれることなく、常に公平に他人の長所を認め、また他人のよい意見をとり入れる寛容な人になる。

集団行動のあり方について知り、情況に応じて望ましい行動をなし、互に協力して社会の民主化をはかるようになる。ならない。

公私の別をわきまえ、強い責任感をもつて自己の職責を果すようにならない。

社会正義について理解を深めこのことに敏感になると共に不満足な状態の改善につとめるようにならない。

職業や地位や感情にとらわれることなく、常に公平に他人の長所を認め、他人のよい意見をとり入れる人とならねばならない。

- ◎指導者と被指導者との間に民主的なつながりが保たれねばならない。
- ◎定められた義理人情をなくするようにせねばならない。
- ◎職場において友情と尊敬と信頼が生じるような態度がとれるようにならない。
- ◎成人は子供から尊敬と信頼をうけ、子供への深い理解と愛情とを持つてお互いに結ばれるよう努力せねばならない。
- ◎他人と廣く交際し、自主的に多数の正しい意見に従つて行動しようとする態度が作られねばならない。

- ◎責任感の強い人になるような考慮が持われねばならない。
- ◎自己の仕事に對して愛着を失うことなく、責任をもつて能率的に職務の遂行をはからなければならぬ。
- ◎職場の業務を合理的、能率的にすると共に、常に誠意をもつて社会へのサービスを心掛けねばならない。
- ◎公共の物品を正しく使用する態度を養わねばならない。

- ◎社会正義について一層理解を深め、それに敏感になると共にその實現に努めるようにならない。
- ◎批判力に乏しく安易に妥協する傾向が改められなければならない。
- ◎社会のために正しいことを主張し、實行する勇氣が養われなければならない。

- ◎権力に盲従する傾向をなくさなければならぬ。
- ◎相手の如何にかゝらず、よい意見を傾聴すると共にそれを取り入れようとする態度がつくらなければならない。

常に社会の機構と動向についての理解を広め、正しい判断に基いて社会の問題を解決できるようになる。

政治や法律についての理解と知識を深め、個人の権利を尊重すると同時にその義務をじゆうぶんに守り、りつばに公民としての責任を果すようになる。

社会の機構や動向を自己の生活を通して理解し、理想社会の實現につとめるようにならなければならない。

憲法を理解し、個人の権利を尊重すると共にその義務をじゆうぶんに守り、りつばに公民としての責任を果すようにならなければならない。

◎社会の成立を知りその一員として社会生活を営むことを理解し、人類の進歩を確信し、理想の實現に努力しなければならない。

◎社会生活の本義を辨えて、理想的な社会生活が営まれるように協力しなければならぬ。

◎社会問題、政治問題を自己の生活との關連において理解できるように能力と態度を養わなければならない。

◎近代社会における大衆廣報活動の意義を理解し、社会問題を正しく批判できる能力と態度を養わなければならない。

◎足利市の生活の歴史的經過について反省の資料が提供され、悪習や困窮の改善のために用いられなければならない。

◎教育のもつ社会機能について充分理解されなければならない。

◎常に政治の在り方を批判し、すぐれた議員を支持しなければならない。

◎特に憲法の精神を理解し、行政の本義について正しい意見を持たなければならない。

◎民主主義の目指す理想に對して確信を持ち、その發展と擁護のために忠實に行動しなければならない。

◎道法を精神をひろめ、法治下の自由の立場から現實の矛盾や悩みの根源をつきとめ、一歩一歩強力で改善していく能力と態度とを養わなければならない。

◎選挙権の行使は常に正しい判断に基いてなされなければならない。その結果についても深い關心が拂われなければならない。

◎正しい公民の代表を選び得る能力をもたねばならない。

◎自己の権利のみを主張せず、責任や義務について考慮が拂われなければならない。

◎一黨一派や地域の個人的な利害や感情にとらわれず全体の發展を圖らねばならない。

◎世論特に婦人や青年の聲に耳を傾けなければならない。

◎政治面における計画性と実行力とを重視しなければならない。

◎種々の予算や計画をよみとる力が養われなければならない。

世界各国の文化を尊重し、その特性を理解し、またわが国の個性豊かな文化を創造して進んで世界の文化の向上発展に努力するようになる。

広く世界を知り、その文化を尊重し、世界文化の向上に貢献して平和への意欲を高めるようにならなければならない。

◎外国の事情や人々の生活を正しく理解し豊かな心情をもち、平和への意欲が高められなければならない。  
◎世界の歴史、地理、科学、藝術、道徳、宗教などの文化についてその特性を理解し平和愛好の精神が高められなければならない。

郷土及びわが国に対する愛情を深めそのよい伝統を保持伸長すると同時に、外国の人々の生活を正しく理解して、国際親善、人類平和の増進に協力するようになる。

郷土を愛し、そのよい伝統を理解し維持助長しようとすまうにしなければならない。

◎名所舊蹟が保存され歴史上の人物が市民の文化的教養向上に役立つように考慮されなければならない。  
◎無批判な國粹主義や外國追従主義に陥らないようにせねばならない。

### 經濟生活及び職業生活

#### 教育 目標

産業機構と生産の機能について理解を深め、生産生活を計画的に営み、すゝんで個人及び社会の福祉増進のため働くようになる。

職業についての基礎的知識を修め、機械器具の取扱いに習熟し、その性能をいかすような技能を身につけるようになる。

#### 教育 課題 大項目

産業機構と生産の機能について理解を深め生産生活を計画化して、すゝんで個人及び社会の福祉増進のために働くようにならなければならない。

職業についての基礎的知識を修め、機械器具の取扱いに習熟し、その性能をいかすような技能を身につけねばならない。

#### 教育 課題 小項目

◎近代社会における生産の意義を理解せねばならない。  
◎中小企業のもつ産業機構の性格を充分理解し、協力して計画生産を行い、共に榮えようとする意欲と態度をもたなければならない。  
◎運輸、通信、電氣ガス等の機関のもつ公共性について理解し、社会的機能を充分發揮できるように支持する態度が養われなければならない。

◎職業についての基礎的な知識や技能をもちねばならない。  
◎生産に関する機械器具についての基礎的知識をもち、取扱いに習熟し、その性能を生かすような技能を養われなければならない。

いろいろ職業について理解を広め個性を自覚し、その個性に適した職業を選択することができるとなる。

自己の仕事に誇りをもち、働くことに喜びをみだし努力精進する人になる。

仕事目的を知り能率のあがる方法をたえず工夫し、ねばり強くやり通すようになる。

経済生活に必要な知識を広めると共に経済生活を堅実に営み、着実な生産の振興をはかるようになる。

資源を愛護し進んでこれを開発活用するようになる。

いろいろな職業について理解を廣め、自己の特性に適した職業を選択することができるようになる。

社会進歩の原動力が生産労働にあることを理解して、労働に喜びをみだし努力精進する人にならねばならない。

仕事目的を知り、むだを省き能率を高めるように常に工夫してねばり強くやり抜く人にならねばならない。

経済生活に必要な知識を深めると共に、経営の堅實化によつて着實な生産の振興をはかり、住みよい社会をつくるようになる。

資源を愛護し進んでこれを開発活用するようになる。

◎自分に適した職業を選定し、家庭や社会のために働かねばならない。  
◎見栄や、外聞にこだわらないで自分や子供たちの職業を選ぶことができるようになる。

◎社会進歩の原動力が生産労働にあることを理解し、これを尊重し労働を愛する生産者にならねばならない。  
◎公共事業の従業員の誠實と親切さがつちかわれねばならない。  
◎努力して働く人々を心から尊敬し、樂な生活にあこがれるよりは世の中に幸福をもたらすような仕事で生活を築いていこうとするようにしなければならぬ。

◎仕事目的を明かにしてむだをはぶき、能率を高めるように常に工夫する生産意欲が養われねばならない。  
◎自分の仕事に対してより一層の研究意欲をもち、ねばり強く仕事をもり立てなければならぬ。

◎経済的變動のはげしいせん雑産業の特性が人々を必要以上に投機的にかりたてることを理解し、堅實な経営によらなければ着實な眞の發展のない事を知らねばならない。  
◎生産増強の必要なわけを理解し、資金を本質的な生産設備にふりあて生産の振興をはかるうとする理知に裏付けられた経営がなされるようになる。

◎営業道徳を重じ、堅實な良心的生産をしなければならぬ。  
◎資源を愛護し、その開発と活用をはかるようになる。  
◎家庭燃料に用いられている資源についてその重要さを理解し、節約をはかるうとしなければならぬ。  
◎土地を高度に利用しようとする工夫がなされなければならない。

品物を大切に取扱ひ、また絶えず創意を働かせ品物を生かして使うことができるようになる。

予算をたて、計画的に有効な消費生活を営むことができるようになる。

生計を工夫し創意をはたらかせ、國家的立場から計画的に消費生活を営むことができるようにならねばならない。

不合理なしきたりや習慣に流されて無駄な消費生活が営まれないように反省し、消費生活の基準を知り、計画的な豫算生活が行われねばならない。

◎國家的社会的立場から物を大切にし、消費生活の基準を自ら定め、生計を工夫していくことができねばならない。  
○節電に協力するようにならねばならない。  
○見栄や遊びのために無駄使いをしないようにならねばならない。  
○物を大切に使うとする態度を養ひ、品物を長もちするように使うことができるようにならねばならない。

◎不合理なしきたりや習慣に流されて無駄な消費生活が営まれていることを考へて、國家的社会的立場から消費生活を反省し生計を工夫し生活を築かねばならない。  
○見栄や外聞などにとられることなく、  
1. 衣生活を合理化し  
2. 健康で文化的な生活ができるような家屋の構造を選び、  
3. 茶賃を主にした合理的な食生活を行う  
ようにならねばならない。

### あ と が き

足利市教育の一般目標設定のために五十名の委員を委嘱し委員会が構成され、才一回の会合がもたれたのは昭和二十八年七月二十九日であった。当日地域教育目標の意義について活潑な意見が交換され、次回には専門家を招き指導を仰ぎ、更に討議検討し、共通の理解に立つて目標の設定に着手することになった。

八月二十七日には国立教育研究所調査部長飯田晁三先生を招き、教育目標設定の意義とその方法について御指導を仰ぎ、地域教育目標の重要性を把握し、その設定が科学的、実証的な基礎に立脚せねばならないことを認識した。その結果社会機能別に専門部会を組織してそれぞれの立場から本市の実態について詳細な調査研究を進めることになった。

専門部会においては調査内容、方法、対象、結果の処理について充分論議をつくし、九月より十一月に亘つて調査を実施して適正な資料の収集に努めた。

主なる調査事項はまえがきに記述された通りであるが、このぼうだいな調査がそれぞれ対象の地域社会人、学校関係者の理解と協力によつて極めて円滑に実施され、その集計處理が研究所員及び研究員のなみなみならぬ努力によつてなされ、正しく意味づけられて貴重な資料として専門部会に提供された。

専門部会はこの資料にあらゆる角度から検討を加え熟議を重ねて社会課題を抽出し、更に社会課題から教育課題へ、教育課題から教育目標へと審議を進めること十数回に達した。

次いで開かれた目標起草委員会においてし細に検討され成文化されたのがこの教育一般目標である。

目標設定の計画を立て、から九ヶ月、五十名の委員の方々が各々の立場から一致協力し、溢るゝばかりの熱意をもつて終始された努力と誠意に対しましては全く感激の外なく、衷心より感謝申上げる次第である。

また御指導と御協力を賜つた国立教育研究所飯田晁三、矢口新、岩井龍也各先生並びに静岡県立教育研究所瀧所長、高原、油井兩所員の諸

先生に深く謝意を表するものである。  
 今後はこの教育目標がよく市民に理解され、教育計画全般に充分な活

用を願ひ、この目標設定をして意義あらしめるよう念願してやまない。  
 最後に委員を紹介し各位とともに感謝の意を表します。

### 足利市教育一般目標設定委員

(五十番順)

委員	市議会議長	石川多助	委員	小学校教頭	柴崎好悦	委員	市学校教育課長	笠原清
副委員	足利信用金庫理事	荻野英二	同	中学校長	須永芳雄	同	市教育研究所長	岡ノ谷常雄
委員	市社会教育委員	○麻野晋三	同	市議会议長	○相馬皆治	同	總務課長	中島豊三郎
同	市青年会連絡協議会長	○天貝壽一	同	農業部門	蘇原郷助	同	前總務課長	植木太重
同	縣指導主事	石川民治	同	中学校教頭	田米開七藏	同	体育課長	春川平二郎
同	小学校教諭	飯野吉男	同	山辺地區連合婦人会	田部井トシ	同	社会教育課長	○漆原十月
同	商業部門	内田元四郎	同	足工高教諭	津久井實	同	市指導主事	○小林俊茂
同	小学校教諭	梅田智	同	元中学校長	○中村廣三	同	市教育研究所員	○川田昇
同	足利工業試験場長	○大川英三	同	中学校長	○名淵金市	同	〃	○染谷正
同	農業部門	大關和子	同	市体育協会长	○長竹寅治	同	〃	○小林万藏
同	足利友の会	○小野伊佐子	同	P.T.A.会長	成瀬清	同	〃	
同	中学校教諭	大和田豊	同	中学校教諭	中村章	同	〃	
同	小学校教諭	岡本マサ子	同	足高校長	○廣木政雄	同	〃	
同	市連合婦人会	○柿沼菊壽	同	中学校教諭	廣田ツル	同	〃	
同	足利保健所長	河内健司	同	小学校長	福田英二	同	〃	
同	足女高教頭	川田勇	同	小学校教頭	藤田四信	同	〃	
同	小学校教諭	木澤日出夫	同	前市教育研究所長	眞下利重	同	〃	
同	機械工業部門	小林忠藏	同	せん維工業部門	茂木富二	同	〃	
同	P.T.A.会長	○小瀧四郎	同	宗 教 家	和田良信	同	〃	
同	小学校長	○小林条吉	同	市教育長	○前島俊三	同	〃	

### 足利市教育委員

(○印は成文のための委員)

采澤信光	中島良助	源田貫秀	長竹寅治	殿岡利男
------	------	------	------	------